

神奈川の研究者紹介

氏名	宮崎 幸江 (みやざき さちえ)	
現職	上智大学短期大学部 英語科 教授	
主な経歴	英語教育修士 (テンプル大学)、言語学博士 (ミシガン州立大学) 2006 年から現職	
専攻分野・研究テーマ	年少者日本語教育、バイリンガル教育、ことばとアイデンティティ、茶の湯と日本文化	
主要業績 (これまで 発表した著 書、論文、 行政委員 の経験等)	<p>著書 『日本に住む多文化の子どもと教育 ことばと文化のはざままで生きる 増補版』 (2016) 上智大学出版</p> <p>論文 「サービスラーニングによる地域貢献-正課カリキュラム化までの経緯と課題」 (2022) 『上智大学短期大学部紀要 43』 「大学における言語文化的多様性：日本育ちの外国につながる大学生」(2021) 坂本光代編『多様性を再考する：マジョリティに向けた多文化教育 Rethinking diversity: multicultural education for the majority』上智大学出版</p> <p>所属学会 母語・継承語・バイリンガル教育 (MHB) 学会理事、日本語教育学会会員</p>	
神奈川県との 関わり	<p>2021 年 神奈川県立地球市民かながわプラザ「日本語学習者応援プロジェクト」 講師、KIF 2019 年「日本語学習者・支援者のための集い」講演 2018 年 かながわ教育フェスティバル「インクルーシブな学校・地域を目指して」講演</p>	
メッセージ	<p>日本で育つ外国につながる子どもの言語発達やアイデンティティを研究しています。上智大学短期大学部と秦野市の提携事業協定のもと、市内の小中学校へ学生を派遣し、日本語指導が必要な外国につながる児童生徒の日本語や教科学習支援を行うサービスラーニングを展開してきました。地域が持続可能な発展を続けるためにグローバル化は避けては通れません。一方「内なる国際化」の進行に伴い、外国につながる第二世代の子ども達の日本社会への統合も次の課題となることは必須です。外国につながる子どもだけでなく全ての子どもが「誰も取り残されることのない」包摂的で公正な社会づくりのために、大学は地域と連携しどのような貢献ができるかを考えています。</p>	
連絡先	<p>上智大学短期大学部 英語科 〒257-0005 神奈川県秦野市上大槻山王台 999 電話：0463-83-9331 (代表) E-mail: sa-miya@sophia.ac.jp</p>	

神奈川の研究者紹介

氏名	狩野 晶子 (かの あきこ)	
現職	上智大学短期大学部 英語科 教授	
主な経歴	上智大学大学院外国語研究科応用言語学専攻博士前期課程修了。東京外国語大学大学院総合国際学研究科助教を経て2009年より上智短期大学英語科助教、2020年より現職。	
専攻分野・研究テーマ	応用言語学、第二言語習得研究、外国語教育 児童期の英語教育、小学校英語教育	
主要業績 (これまで 発表した著 書、論文、 行政委員 の経験等)	<p>[小学校検定教科書]BLUE SKY elementary 5・6. 新興出版社啓林館 2020年.</p> <p>[中学校検定教科書]BLUE SKY English Course 1・2・3. 新興出版社啓林館 2021年.</p> <p>[共著書]『小学校外国語活動・外国語とっておきの言語活動レシピ』 加藤拓由, 狩野晶子, 東仁美, 明治図書出版, 2021年.</p> <p>[論文(共著)] “Clarifying Classroom Responsibilities in Elementary English Education” Akiko Kano, Atsuko Nakazawa, Timothy Gould. JALT Postconference Publication – Issue 2022.1; August 2023 2022(1), 127-127.</p> <p>[論文(共著)] “Elementary Senka/specialized English teachers (SETs): Finding a place among the HRTs and ALTs” Akiko Kano & Takaaki Hiratsuka <i>Team Teachers in Japan</i>, 2023. Routledge, 186-195</p> <p>[論文]『これからの小学校英語のために—小学校英語の指導に求められる「力」を考える—』神奈川県教育文化研究所『所報』2019年</p>	
神奈川県との 関わり	神奈川県国際文化アカデミア 外部評価委員 (2015-2020)。 神奈川県各市での小学校の研究授業講師などを務めている。	
メッセージ	上智大学短期大学部では地域とのつながりを「サービスマーケティング活動」という形で長年にわたって紡いできました。本学の学生たちは授業で学んだ専門性を活かして地域の小学校などで教育支援活動に携わり、その体験をまた学びに還元するカリキュラムの中で深く実践的に学びながら成長していきます。私は、児童英語教育の専門家の立場で地域の小学校で学生たちが行う英語授業を監修してきました。2023年度からは秦野市内の全小学6年生が本学キャンパスを訪れて様々な英語のアクティビティに取り組み、言語活動を通して英語を学ぶプログラムを実施しています。短大生が英語を使う姿が、小学生にとっては身近なロールモデルとなり、子どもたちの学習への意欲や将来の自分の進路にも思いを馳せることにつながっているのを実感します。	
連絡先	上智大学短期大学部 英語科 〒257-0005 神奈川県秦野市上大槻山王台 999 電話：0463-83-9331 (代表) E-mail:akikano@sophia.ac.jp	